



# June Newsletter

## College for International Cooperation and Development



### Dear friends and future volunteers

今回のニュースレターは、DI (Development Instructor. ボランティア) のアフリカ活動レポートを中心に紹介します。

モザンビークからは、北部モザンビークの貧困地域 Cabo で活動する Gian と、チルドレンズ・タウンで活動を行った Nico のレポートを、マラウイからは、自然医学によって農村地帯の人々の生活向上・改善を試みた Csilla のレポートを紹介します。

また、ニュースレターの最後には、ガイアチームと責任者 Wendy によって行われている CICD のガーデニング活動についても触れています。

## FINAL REPORT

by Nicolas Anso  
At Maputo Children's town

14ヶ月前に自分の人生を変え始めたこの部屋と同じ場所で現在、コンピューターの前に座っている私があります。このことは、私に時間が経過したことを教えてくれます。この14ヶ月の間、多くのことが少しずつ私に起こり、私を変えました。そして、ほぼ1年半のこの期間は、わずか2週間のように過ぎました。



2006年10月29日に全てが始まりました。この日は、私の人生で初めて、単独で祖国アルゼンチンを出立したし、寒いイングランドに到着した日です。当時、一言の英語も話せなかった私は、空港からハルへ、それからCICDへと向かいました。

最初の週は、私がガイアコース（古着リサイクル作業に従事し、プログラム費用を補填する奨学制度）を終えるために一生懸命に働く必要がありました。

私は、古着の包装/発送やチラシ配り、車での回収も行いました。これらの作業は、決して簡単ではありませんでした。なぜならば、私がこれらの作業をしていた頃、イギリスは冬だったからです。イギリスの冬はとても寒く、時々、呼吸することさえ難しいです。しかし、しばらくして、私はそれに慣れました。そして、私は広報活動を行うなどして、最終的に問題なしでガイアコースを終えることができました。

3月1日には3月チームが開始し、私はその一員として、DI生活が始まりました。これは、私にとって、本当に本当に大きい経験でした。

私が最初に得たものは、チームでした！とても素敵な人々がたくさん居て、6ヶ月間、私達は毎日、一緒に活動していました。チームメイトと一緒に過ごすことは、とてもよいことだと思います。なぜならば、私の側にはいつも誰かが居て、私が必要なときに支えてくれるからです。

CICDでの事前研修期間、Partnership活動では、私は雑誌を売ったり、ニューキャッスル（イングランド北東部にある大都市。CICDのサテライトがあり、一部のガイアコース参加者が活動している）やCICDで古着の包装/発送の作業を手伝い、資金を調達していました。また、学習面では、私はより多くのアフリカについての知識を得ました。そして、私が自分のプロジェクトを選択し、自分がどのような活動をするのかについて知り、その準備ができたことは本当に良いことでした。

## AFRICA

私がプロジェクトに到着したときは、挑戦、恐れ、願望とより多くの感情が混ざっていました。それを克服するためには、いくらかの時間がかかりました。そして、時間が経過すると共に新しい場所に慣れて、新しい生活の準備ができました。しかし、その時、私が本当に得たとても大きな手助けは、モザンビークの子ども達でした！彼らは私を家から連れ出し、とても暖かく穏やかな気持ちを与えてくれました。

私が最初にプロジェクトで発見したことは、現地のスタッフやプロジェクトは、訪れる DI のために仕事を用意していないということでした。最初、私はとてもこれが辛かったです。なぜならば、私は自分が何をすればいいのか見つけることができなかつたからです。しかし、2 週が経過して、私はそれが実は本当に良い点であることに気づきました。なぜならば、私は自分が活動したいと思った地域で働いてよく、私がしたいと思うことを挑戦することができたからです。つまり、「自分次第」ということです。

最初の月、私は主に夕方、休暇と週末プログラムを企画・運営することに時間を費やしました。例えば、浜辺でスポーツ（サッカー、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、その他）を行ったり、パンを焼いて、ゲームをして、図書館を開きました。また、いくつかのレッスン（スペイン語、コンピューターの使用の仕方）を行ったり、子ども達の英語や生物学の宿題を手伝ったりしました。

そして、私は 2 ヶ月間の間、ADPP（モザンビーク Humana People to People の略称）オリンピックゲームのため、サッカーとバスケットボールチームを訓練し始めました。また、私は料理をして、母親達を手伝い、食堂と台所で起こる問題（食糧が消える）を解決することも試みました。

それと同時に、私は看護婦達に対して、週 1 で学校に訪問してもらえるように、協力を頼みました。以前に私は、他の DI 達と一緒に、子ども達の健康の面倒を見ていました。

後になって、私達はいくらかの寄付金を受け取りました。この寄付は、多くの DI 達と一緒に協力した結果です。私はこの受け取った寄付金で、古い遊び場を作り直し、ペンキを塗りなおしました。この活動は約 2 週間続き、私をととても忙しくしました。



遊び場：修理以前と現在



それから、私達は多くの寄付金を受け取りました。この寄付金で、私達は学校の子どもたち 1 人ずつに、ベッドマットレスを購入しました。それ以前まで、彼らは床で寝るか、もしくは 1 つのベッドを 3 人で共有していました。しかし、同時に、私達は彼らがマットレスを置くためのベッドを持っていないことに気づきました。

そのため、私はホセ・カルロス（他のDI）と一緒に、ベッドを造るための金属を購入しました。私はほぼ1ヶ月間を費やして、40のベッドを造りました。この期間、私はまた同時に、生徒達にどのように金属を使用して、作業をするのかを教えました。先生達は時々、材料について私に質問を投げかけ、機械の修理の仕方を尋ねてきました。この活動の結果、子ども達は、ベッドとマットレスで眠ることができました。



部屋：ベッドを造る以前と現在



私達はまた、食堂のイスを修理するための材料も購入しました。なぜならば、食堂には全ての子ども達への十分なイスがなく、ほとんどのイスは壊れていたからです。



食堂：修理以前と現在



また、私は、Machamba（菜園）で現地の人々に、どのように耕作をすればいいのかを教えることに、多くの日を費やしました。そして、雨季の後に使用できる井戸を建設しました。これは、産出高を増やし、その余剰作物で少しの収入を入手するためと、学校で何か違うものを食べるために行いました。

私は、自分が行った活動の大きな成功と、結果を見てとることができます。それは、現地の人々が「ありがとう」と言ってくれたことからもういえると思います。

同時に、私は何人かの生徒達の手助けを行いました。例えば、学校で勉強するためのスポンサーを探すこと、妊娠した少女が病院に通える資金を探すこと、教材を入手すること、私の家族と協力して1人を支援すること、多くの文書を作成し、ジンバブエの大学に行くために2年間待っている15人の生徒達のために、パスポートとビザを入手することに奮闘しました。私がこのプロジェクトを去る前、この13人の生徒達はすでにジンバブエ居て、残りの2人はこの6月に行く予定です。

私は、これらの個人的なことは、とても重要だと考えています。なぜならば、これらの子ども達は元々ストリートチルドレンであり、彼らは人々を信用しないです。そのため、もしも彼らが信用は良いものだと思いき、そして貴方が彼らを助けたならば、貴方は彼らが彼らの人生の中で信頼する数少ない1人になるでしょう。



Csilla Papp は、ルーマニア出身の 2007 年 5 月チームの Development Instructors です。彼女は、CICD のプログラムに参加する前、ルーマニアで理学療法（マッサージ、ハーブ薬など）の仕事をしていました。以下に、彼女がマラウイでのボランティア活動を終えて書かれたレポートを読むことができます。

マラウイでは、幼稚園は政府によって支えられません。通常、幼稚園は Development Instructor の人々で支えられています。そのため、私も、自分が担当する幼稚園を支え始めました。私は Blantyre（マラウイ南部の大都市）で基金調達活動を行い、多くの教材を得ました。（色ペン、練習帳、タイル本、ボール、おもちゃ、服、ビスケットなど、その他）

いくつかの幼稚園は、他の NGO によって支えられています。しかし、これらの幼稚園のいくつかは、教材や子ども達への食糧、学校施設を持っていません。子ども達は、外で木の下に座っています。雨季の季節（11 月～4 月）には、両親は子どもを幼稚園に行かせていません。

通常、2～6 歳の子どもがいます。子ども達は、本当に粗末な服を着て、靴もありません。子ども達の何人かは、マラリアか結核の病気にかかっています。子ども達は、払える治療費がないために、病院に行く機会がありません。また、たとえ払える治療費があっても、病院は子ども達が住む場所からは遠いところにあるため、行く機会はありません。

幼稚園での教授方法は、先生が言ったことを何回も子ども達が復唱する方法を採っています。これは、あまり良い方法ではありません。幼稚園の先生はボランティアで、彼らは給料をもらっていません。彼らは、トレーニングや教育を受けたことがない人々です。毎月、幼稚園の先生は、1 日トレーニングがありました。これは、Development Instructor である私達が彼らのために考え、準備しました。

私達は、幼稚園の先生達が教育のために使うことができるような、数多くの種類のゲームを教えました。また、私達は、彼らに新しい教授法を教え、異なるスキルを教えるために、地元で入手できる材料を使った教授法を彼らに教えました。



私はこの 1 日トレーニングの場で、「Natural Medicine（自然医学）」についてのプレゼンテーションをしました。その理由としては、幼稚園の多くの子ども達が病気なため、この「Natural Medicine」を幼稚園で利用することができるだろうと考えたからです。多くの子ども達は、傷と真菌を持っていました。これらを処置するためには、たとえばタマネギクリームと、にんにくクリームを使用することができます。結核には、ユーカリの葉茶を使用することができます。私は、幼稚園の先生と一緒に、この薬を調合しました。多くの人々は、これらの病気を患っています。それと同時に、彼らの回りの至る所では、これらの植物があります。しかし、彼らには、これら植物の治療特性とその使用方法についての知識がありませんでした。



私は今回、この短い活動報告と一緒に、いくつかの「Natural Medicine」を紹介します。私は、自分のこのレポートが役に立ち、人々がアフリカの状況と人々の苦しみについて考えるきっかけになることを望みます。

私はアフリカに戻り、働く予定です。なぜならば、アフリカは私達を必要とするからです。それは、ただ支えるためではありません。私達が彼ら（特に農村地帯の人々）と話しを始めたとき、彼らはとても幸せになります。これは、事実です。

アフリカ・マラウイでの 6 ヶ月間は、永遠に私の中に生きるであろう、とても特別な経験でした。

## 様々な病気に使用できる植物と果物 — 「Natural Medicine」 —

### 1. マラリア

マラウイで大きな問題の1つである、蚊を媒介に発症する病気。特にマラウイでは、雨季の時期にとっても大きな問題となる。（雨季には、蚊が大量に発生するため）

治療方法 「Natural Medicine : マラリア」

- レモンの葉を使用したお茶
- ガーリック・クローヴ（香料）
- 生姜
- グアヴァの葉を使用したお茶
- パパイアの葉を使用したお茶
- ヨモギ属の葉を使用したお茶

### 2. 虫（寄生虫）

人々の腸で生き、病気を引き起こす様々な異なる種類の虫と、他の小さい動物（寄生虫）がいる。

治療方法

- パパイア — 毎日パパイア葉を噛む／時々、経口的に大さじ1の種をとる。
- ギンゴウカン— ギンゴウカンの30粒の種を乾燥させて、2時間それをお湯に入れる。これを朝食の後、飲む。
- カボチャ— 100gr（大さじ20）生の種を若干の水と混ぜて、下痢の空腹時にこれを食べてください。下剤は非常に重要です。なぜならば、虫が死なず、麻痺するだけだからです。自然の下剤のとき、たくさんの熟したパパイア、またはマンゴーを食べる。

### 3. 傷／吹出物／感染性傷

治療方法

- ガーリック — にんにくのスライスは、閉じた吹出物と皮膚から膿を取り除く。
- タマネギ — タマネギ軟膏は、傷の手当てをする。
- 砂糖とはちみつを混ぜたもの
- 1グラムの砂糖と、未熟なパパイアの1滴の白いラテックスを混ぜ合わせる。この混合で傷を満たして覆い、包帯でカバーする。この作業を、1日1回、繰り返す。

### 4. 胃炎

胃の内壁の炎症。

治療方法

- グアヴァ — 未熟なグアヴァを少し食べる。
- グアヴァのお茶 — 1枚のひと握りのグアヴァ葉をとって、1リットルの水を加える。これを20分間沸かした後、濾過する。これを1日に、適度に飲む。
- さつまいも — さつまいもをチョップして乾燥させ、小麦粉に連打する。毎日3回、少しの水と一緒に、小さじ1の分量でこれをとる。

### 5. ぜん息と咳

肺のより小さな気管支が粘液でブロックされ、呼吸を困難にする。

### 治療方法

- オレンジ –一握りのオレンジの葉を1リットルの水と一緒に2分間沸かし、それを1日飲む。
- ユーカリ葉 –15分間、ユーカリの葉を沸騰させる。これは、頭と呼吸をカバーする。

### 6. 真菌

皮膚にできる感染症。

#### 治療方法

- にんにく油 - にんにくを **200g** を集めて細かく刻み、植物油と混ぜる。これをカバーして **3** 日間置き、これを使用しながら、マッサージを皮膚にほどこす。



Gian Borba はブラジル出身で、2007年9月チームに参加した方です。彼は現在、北モザンビークにある Cabo という地域で、Teachers Training College (教員養成校) と Vocational School (職業訓練校) のプロジェクトで活動しています。

[詳細 → http://www.humana.org/Article.asp?TxtID=257&SubMenuItemID=161&MenuItemID=52](http://www.humana.org/Article.asp?TxtID=257&SubMenuItemID=161&MenuItemID=52)

その彼から、短いレポートが送られてきました。以下に、彼の書いたレポートを読むことができます。

お元気ですか？CICD の調子はどうですか？長い間、インターネットがなかったため、私はこれまで少しのレポートも書きませんでした。しかし、現在、インターネットがあるので、私はこのレポートを書くことができます。

ここでは、全て大丈夫です。多くの問題があっても、私は本当にプロジェクトが大好きです。

エリック (プロジェクトリーダー) は心の広い素敵な人で、全ての考えを受け入れることができます。これは良いことです。なぜなら、私達は多くの異なることを挑戦できる機会があるからです。

私は現在、数学の授業を行っています。なぜならば、現地の教師の数は少なく、彼らはすべきことをたくさん持っています。そのため、私がこうして教師として活動する機会を得ました。

私はまた、活動地域内にある幼稚園を改善・向上させるための活動にも取り組んでいます。子ども達は以前まで、ほとんど支援が受けられずにいました。そのため、私は、2006年9月チームのまよとゆりかや他のDIが行った素晴らしい仕事を、自分も引き続き行うことを決意しました。私は現在、遊具とともに遊び場や



トイレ、シンクを建設しています。なぜならば、私は彼らに対して、どのように歯をみがくか、個人的な衛生について教えたいからです。子ども達にこれらを教えることは、簡単です。本当に難しいことは、大人達に何かを教えるということです。

この子ども達は健康の問題があります。なぜならば、彼らは同じ食べ物を毎日食べているため、彼らのお腹と歯が健康的なものではないことがすぐ見てとれるからです。そのため、私はいくつかの野菜を育てることを始めました。そして、私は 2 人の現地の人と一緒に、この活動を行っています。なぜならば、この活動は、人力による灌漑が毎日必要であり、私にはそれを行う十分な時間がないからです。そのため、これは難しいことでもあります。しかし、このようにして、コミュニティの人々と一緒に活動することは良いことです。なぜならば、彼らはいくらかの収入を得ることができ、同時に農業をどのようにして改善・向上していくのかを学ぶことができるからです。

私は、CICD から何人かの DI 達がこの地域で、私と同じプロジェクトに派遣されることを知っています。私は彼らに対して、まず言えることは、ポルトガル語を習得することがいかに重要かということです。特に私が現在、活動している地域は、ポルトガル語ができない DI が、英語の授業を行うのがいかに困難であるかを言うことができます。

もう 1 つ私が言えることは、このプロジェクトにはコンピューターとプロジェクターがあります。そのため、私達は生徒達に多くの映画を上映することが可能です。そして、生徒達はもちろん、現地の人々は映画を見るのが大好きです。だから、もし貴方のうちの誰かがこのプロジェクトに来るのであれば、ポルトガル語の字幕がある映画 (DVD) を持ってくることをお勧めします。映画を通して、他の国々や文化のことを知ることは、彼らにとってとてもいい機会になります。

そしてまた、私はここの農業が改善される必要があるということを言うことができます。彼らはそれだけの種を持っておらず、多くの異なる種類の野菜を育てていません。それは彼らが野菜が嫌いだからということではなく、彼らにはいかなる選択肢がないからです。

私には現在、ここで異なる野菜と植物の種を得て、それらを育ててみようという活動を行っています。しかし、私はもうすぐこのプロジェクトを去ります。もし、9 月に来る DI のロドリコ (CICD2008 年 3 月チーム) が、私のこの活動を続けることができたのならば、私はとても嬉しいでしょう。彼は農業の専門家なので、彼は多くのことができるからです。

また、もしも誰かコンピューターに詳しい人が居て、ソフトウェアをインストールし、電気修理と水のトラブルを解決できる人がいるならば、これらを行うためのソフトウェアや道具を持ってきてください。私は現在、ここでとても多くの仕事をしていますが、十分な材料がなく、購入することもできないのが現状です。なぜならば、これらはとても高く、都市でしか入手できないものだからです。

今のところは、それです！

最後に、5 月に派遣された 11 月のチームの人々が、派遣されたプロジェクトで、とても素晴らしい活動をすることを期待しています。



## Gaia Team Study days

### Wendy Dunnett-Dagg, Gaia Teacher at CICD:

「自分にできることを、自分が持てるものを用いて、今いる場所で行なって下さい」これは、ルーズベルトが提供した良いアドバイスです。もし、私達が完璧な解決法を待っているのであれば、問題は未解決のままになる傾向があります。したがって、私達は行動を起こすことを決めたのです。

ガイアコースの大部分は、古着をリサイクルすることに焦点を当てたコースです。これに加えて、毎週、少なくとも 15 時間の学習時間があります。このコースでは、自由貿易やフェア・トレード、持続可能なエネルギー、ガイア論などについて学習します。



ガンジーは、私達の誰しもが「あなたがこの世界に望む変化に、あなた自身になりなさい。」という義務があると信じていました。

「Gaia Person」は、活動家です – 環境について多くの意識があり、それを保護するために変化をもたらす人々に知らせて、問い詰めること...私達は、自分達がどんな変更をもたらすことができるかということ、自分達自身の考えを明確に述べることで公式化しようとしています...私達によって、世界ではどれだけの差が生じることができるでしょう。

PS: 6月5日の世界環境デーについての詳細は: <http://www.standuptoclimatechange.org/moreinfo.aspx>

### Dora Volena-Koczor: My own experiences!

ガイアチームでは、毎週、週に 1 度の学習日または学習週末があります。特にガイア・スタディ・ウィークエンドでは、週末に外部で活動しているガイアの人々が CICD に集まります。この週末では、約 20~30 人の全てのガイアの人々と一緒に、主に環境や国際協力について学習し、議論を行います。この週末の学習は、週に 1 度 CICD で行われる学習日とはまた違ったものとなります。



この日は、私達はとても多くのことについてのプレゼンテーションを行います。例えば、国際協力や外国の文化についてです。それが退屈であるなど、思わないで下さい。なぜならば、私達の行うこの方法は、本当に私達相互に作用し、影響を与えるものだからです。私達はたいてい、ゲームを作り、テストやムービーを用いて、プレゼンテーションを退屈させない、面白いものにしていきます。

また、以前にガイアコースに参加し、現在 DI である方が、自身の経験について語ってくれる時間もあります。これらのことを行うことは、貴方は最初は難しいように感じるでしょう。しかし、貴方の英語力を鍛えるのに良いことで、どのように物事を論理的に説明をするのかということをおぼることができます。



私達はまた、いつも午後にスポーツやグリーン・アクションを行います。なぜならば、プレゼンテーションや議論など、いつも座っているだけの学習だけでは、私達を疲れさせるだけだからです。私達は、例えば、サッカー、バレーボール、ガーデニングを行ったりします。特に CICD のガーデニングはとても大きく、多くのするべきことがあります。ガーデニング活動は、植物や環境を学ぶ機会となり、とても良い活動です。



参考までに、前回に行われた学習日について紹介したいと思います。

まず、1日はモーニング・スポットから開始しました。ここでは、担当の指導教員と一緒に、1週間の計画を立て、重要な問題について話し合います。その後、公共場所の30分間の掃除を行い、9:30から本格的にプレゼンテーションが開始しました。

私達の先生は、生物の多様性と発展への生命の発展についてのプレゼンテーションを行いました。これは、本当に面白く興味深いものでした。この地球上には、生命の第一段階についてのたくさんの理論があります。他の生徒達は、この違いについて考えました。



そして、プレゼンテーションの第2幕は、進化と人の生命についてでした。地球上の私達人間の時間は、地球自体が誕生して現在に至る時間の中では、実は非常に短いということに私は驚かされました。

プレゼンテーションの後、私達は水族館「DEEP」に行きました。私は、今までサメを見たことがなかったため、とても興味深く楽しめるものでした。

私は海洋生物に関する新しい情報を得たためか、私の彼らに対する意見を变えました。私は、多くの不思議な質問が彼らにあることを実感しました。

その後、私達は英語のレッスンを受けました。私達は何冊かの本とCDを利用し、レッスンを受けました。

この日の終わりに、私達は個人に課されたプレゼンテーションを準備し始めました。私達に課されたテーマは、「危険にさらされた動植物の種」についてでした。各人がそれぞれ絶滅の危機にある種のリストから、テーマを選びました。たとえば、私は次回に「ジャイアント・パンダ」についてプレゼンテーションすることにしました。これが、先日行われた学習日の1日です。



**College for International Co-operation and Development (CICD)**

@ Winestead Hall, Patrington  
Hull, HU12 0NP  
England

Email: [cicd05@yahoo.co.jp](mailto:cicd05@yahoo.co.jp) (担当: 中尾)

**Contact Details:**

Tel: +44 (0)7813 854 298

+44 (0)1964 631 826

Fax: +44 (0)1964 631 695

**Websites:**

[www.cicdvolunteer-japan.org.uk](http://www.cicdvolunteer-japan.org.uk) (日本語)

[www.drh-movement.org](http://www.drh-movement.org)

[www.humanapeopletopeople.org](http://www.humanapeopletopeople.org)